

レポート名

ここまで知ってる？ くじら船の「四つの組のすごい」

名前

坂 果穂

きっかけ

3年生のころ、4年生がくじら船をひろうしてくれて、四つも組があってすごいなあと思いました。今、4年生になり、こんなにすごいんだなと思ったのがきっかけです。それにくじら船の伝統を受け継ぐことが難しくなっていると知り、くじら船祭りの伝統を受け継ぎたいと思ったからです。

祭りの名前

くじら船祭り

開催日

9月23日以降の土曜日・日曜日

開催地

鳥出神社(四日市市・富田)

どんな祭りか

- ・陸で漁師が魚を捕る真似をするお祭り
- ・豊漁や農作を祈願するお祭り
- ・くじらと船が追いかけてこのような動きをするお祭り

調べたこと

名前

坂 果穂

くじら船祭りの四つの組のことについて説明します。

このお祭りは、「北島組」、「中島組」、「南島組」、「古川町」の四つの組があるお祭りです。それぞれ船の名前があり、その船にはそれぞれ特徴があります。

「北島組」は「神社丸」で、長さ6.25m、最大幅1.57m、深さ1.13mで、屋根は、金地板葺きになっています。

「中島組」は、「神徳丸」で、長さ5.73m、最大幅1.425m、深さ1.06mで、さがりは水押さがりになっています。

「南島組」は、「感應丸」で、長さ6.20m、最大幅1.50m、深さ0.88mで、屋根は、金糸苔葺きです。

「古川町」は、「権現丸」で、長さ6.36m、最大幅1.50m、深さ0.96mで、屋根は、金地板葺きになっています。

このように、くじら船祭りの四つの組にはそれぞれの良さがあるって、とても素晴らしいお祭りです。



参考

観光三重 ホームページ

校内発表会での取り組み

名前

坂 果穂

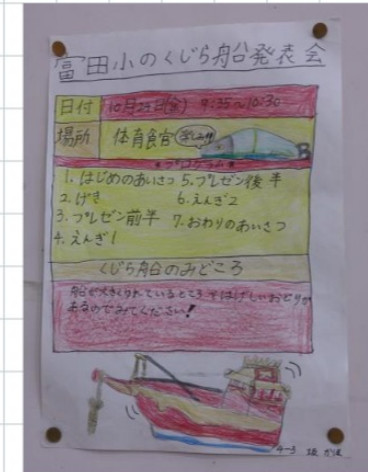
私は、PRグループになり、校内発表会の司会進行をしました。司会では、それぞれのグループのがんばったところや、工夫したところをセリフにして発表を進めました。

私は、劇・プレゼングループにがんばったところや工夫したところをインタビューしに行きました。劇・プレゼングループは「がんばったところは、分かりやすく伝えようとしたところです。」

「みんなにくじら船の魅力を知ってほしい。」

などと、たくさん言っていました。インタビューしたことをもとに、チラシや、プログラム、パンフレット作りをしました。インタビューしたことを、司会の言葉にするのが、とても大変でした。

当日は、緊張しましたが、勉強にもなる発表になったので良かったです。くじら船祭りについてみんなに知ってほしいと思ったことは、こんなにすごいお祭りなのに受けついでくれる人がいないことです。くじら船祭りの魅力は、四つの組でそれぞれの良さがあり、違いがあることです。私は、そのことをアピールできたので良かったです。



写真の説明

司会進行している写真

くじら船祭りの課題とこれからについて

名前

坂 果穂

私たち四年生はくじら船についてたくさん学んできました。校内発表会でも、知らなかったことが他のチームの発表で知れました。くじら船祭りは、危機にせまっています。くじら船が危機になっていることもあるけど、魅力があることをさらに知れて良かったです。

くじら船祭りを受けつぐ人がいないので、くじら船祭りのいいところの呼びかけや、ポスターなどを私は作りたいです。それに、自分たちから家族や友人、親せきなどにも伝えて、参加する人を増やして、くじら船祭りの伝統を受け継いでいこうと思いました。

くじら船にはまだまだ知られていない秘密もあると思います。そんな小さな事でもくじら船祭りの伝統を受けつぐために、みんなに伝えていこうと思いました。みなさんもぜひ参加してください。その参加がくじら船の未来を変えるかもしれませんよ。

たくさんの魅力があることを知れたので、これからもみんなに伝えていきたいです。みなさんもぜひ実際に見に行ってみませんか。

